

★令和7年度 桐生市立商業高等学校『教育ビジョン』（全定共通）策定！★

変化が激しく、将来の予測が困難な現在の社会においては、一人一人が『主体性』を持ち、『自ら考え、判断し、責任をもって行動していく必要』があります。本校では、人が誰しも生まれつき持っている『自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力（Agency：エージェンシー）』を発揮して、自らの意思と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移せるようになるような教育を目指すという本校の教育活動の基本的な方向性を定めます。

生徒たちからは『桐商に入学してよかった！』と、保護者の方々からは『子どもが充実した生活を送っているのがよくわかりよかった！』と、先生方からは『桐商の教師になってよかった！』と、『well-being（ウェル・ビーイング）』の向上を意識した方向に向かっていきたいと考えています！したがって、この教育ビジョンも、例えばiphoneのiOSのように、修正点が見つかれば随時更新していければと思っています。この『S.P.A.R.K.Journal』でさまざまなことを取り上げていきますのでよろしくお願いします！ <校長 星野 亨>

1 本校の教育ビジョンの総称

“S.P.A.R.K. for our well-being！（Students’ Power of Agency and Resilience at Kirisho for our well-being！）”

2 最上位目標

『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』

4 目指す学習者像

- ① 生徒自らが『主語』となる学びをつくり、深めていく
- ② 社会課題を『自分事化』して、行動に移す
- ③ 『多様性』を尊重し、互いに認め合う
- ④ 『対話と交流』により、信頼関係を築いていく
- ⑤ 生涯にわたり『学び続ける喜び』を実感し、共有していく

5 取組事項

本校の教育活動では、『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』を最上位目標に据え、次に掲げる事項について、実践を行います。

- ① 『授業改善（個別最適化・生徒の主体性&非認知能力の育成・一人一台端末の効果的な利用等）』に関する事
- ② 『特別活動（学校行事・生徒会活動・委員会活動・部活動・有志活動）』に関する事
- ③ 『探究的な取組（課題研究等）』に関する事
- ④ その他の学校における取組に関する事
- ⑤ 周知&広報活動（HP・Instagram等）

6 重点事項

- ① 『Agency（エージェンシー）』を発揮する『自律した学習者』の育成
- ② 『主体性（≠自主性）』と『当事者意識』の育成
- ③ 『生きる力』としての『認知能力』と『非認知能力』の育成
- ④ 『自分とまわりの人々の well-being（ウェル・ビーイング）』の向上・維持
- ⑤ ひとりひとりの『心理的安全性』の確保



7 生徒に身につけさせたい資質・能力

- ① 自ら考え、判断し、行動する力
- ② 目標をもって主体的に取り組む力
- ③ 商業高校生としての確かな学力と高い技能
- ④ 問いを立て、工夫しながら課題に取り組む力
- ⑤ ねばり強く挑戦し、困難を乗り越える力
- ⑥ 自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力

す！聞きなれないコトバもあるかもしれませんが、随時、この『S.P.A.R.K.Jornal』で紹介していきます！

『令和7年度 桐生市立商業高等学校 教育ビジョン』を策定するにあたり、OECD の『Learning Compass 2030』や『群馬県教育ビジョン』『SAH 事業』を意識し、策定しました。この『群馬県教育ビジョン』とは、『2024 年 4 月～2029 年 3 月の 5 年間』におよぶ本県における『教育の振興に関する基本的な計画』であり、群馬県の教育分野における『最上位計画』です。人が誰しも生まれつき持っている、『自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力 (Agency)』を発揮して、自らの意思と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移せるようになるような教育を目指すために、群馬県の教育の振興のための基本的な方向性を定めています。

右上の『群馬県教育ビジョン』のパンフレットに『試行錯誤しよう。失敗してもいいのだと知ろう。それが自分を強くしてくれるよ。』という言葉があります。『答えのない世の中』なのだから『失敗・うまくいかないこと』は想定内なのです！そんなときに必要な力が『Resilience (失敗や困難に負けない力)』です！『S.P.A.R.K.』の中の『A』と『R』をぜひ意識してみてください！

＜校長 星野 亨＞

第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン
計画期間：2024年4月～2029年3月

最上位目標 自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
～ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成～

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —
自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す
人は、誰しも、生まれついて自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力を持っている。
○一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
○子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
○地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

2024年3月 群馬県教育委員会